付録資料　A　　　　　アンケート調査票

平成１５年度　石川県産業ＩＴ化実態調査　アンケート票

＜Ⅰ　貴社の企業概要等についてお伺いします＞

■　貴社名、代表者等についてご記入下さい。

<table>
<tr><td>企業名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>郵便番号</td><td></td><td>所在地</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>代表者名</td><td colspan="2"></td><td>年　齢</td><td>歳</td></tr>
<tr><td rowspan="2">記 入 者 名</td><td>所属部署</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>役　職</td><td></td><td>氏　名</td><td></td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="4">TEL　　　　　　　　FAX</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

■　業種についてお伺いします。該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．製造業　２．建設業　３．運輸業　４．卸売業　５．小売業
６．サービス業　７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　）

■　主な取り扱い製品、商品、サービス内容等について具体的にお書き下さい。

例：自動車用ブレーキ部品の製造／病院・診療所向け医薬品の卸／衣料品の小売　等

■　資本金　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）万円

■　従業員数　正規雇用者　（約＿＿＿＿＿＿＿＿）人
その他雇用者（パート、アルバイト、派遣等）　（約＿＿＿＿＿＿＿＿）人

■　直近のおよその売上高（年間）について、該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．５，０００万円未満　２．５，０００万～１億円未満　３．１億～５億円未満
４．５億～１０億円未満　５．１０億～５０億円未満　６．５０億～１００億円未満
７．１００億円以上

■　最近３年間の売上高のおおむねの推移傾向について、該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．増加している（１０％以上）　２．やや増加している（６～９％の範囲）
３．横ばい（±５％内）　４．やや減少している（－６～－９％の範囲）
５．減少している（－１０％をうわまわる減）

■　**最近３年間の収益高のおおむねの推移傾向について、該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。**

１．増加している（１０％以上）
２．やや増加している（６～９％の範囲）
３．横ばい（±５％内）
４．やや減少している（－６～－９％の範囲）
５．減少している（－１０％をうわまわる減）

＜II　貴社のＩＴ化利用環境等についてお伺いします＞

問１　現在のパソコンの導入状況についてお伺いします。該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．従業員１名に１台の割合で導入している
２．およそ従業員２、３名に１台の割合で導入している
３．各部門に１台の割合で導入している
４．特段の割り当てはなく、社内で数台導入している
５．社内で１台だけ導入している
６．所有していない
７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問１付問　『６．所有していない』と回答された企業に、その理由についてお伺いします。
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．所有する必要性がない
→その理由についてお伺いします。該当する番号全てを選んで○をつけてください。
ａ．導入しなくても業務は可能である
ｂ．個人として保有している
ｃ．導入効果がみえない
ｄ．モデル変更が頻繁で、導入のタイミングが掴めない
ｅ．メーカーやシステム業者等の相談相手がいない
２．必要性はあると思うが、操作できる人がいない
３．必要性はあると思うが、予算がない
４．その他の理由がある（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問２　パソコンを利用している業務についてお伺いします。該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．一般的な資料作成
２．経理・給与業務
３．販売管理
４．生産管理
５．物流管理
６．在庫（商品、部品等）管理
７．顧客（得意先、外注先含む）管理
８．人事・労務管理
９．研究開発・試作開発
10．財務管理
11．経営企画
12．社内での連絡・報告・情報交換
13．社外との連絡・報告・情報交換
14．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問３　業務で使用するソフトウェアの構築方法はどのように行っていますか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．市販パッケージ製品をそのまま導入
２．市販パッケージ製品を改良して導入
３．自社独自のソフトを外部に開発委託して導入
４．自社独自のソフトを自社開発して導入
５．自社独自のソフトを外部と共同開発して導入
６．親企業のソフトをそのまま導入
７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＜III　ネットワークの活用状況についてお伺いします＞

問４　パソコンの運用環境についてお伺いします。該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．パソコンは全てＬＡＮ（※）化されており、社内ネットワークが形成されている
２．パソコンは一部ＬＡＮ化されているが、ある部門や事業所単位でとどまっている
３．パソコンは個別に使われている（スタンドアローン（※））
４．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※ＬＡＮ【local area network】：同一敷地（同一建物）内などの総合的な情報通信ネットワーク。
コンピュータ・ネットワークを基本とし，多様な情報を一括して送受・処理できる。（「デイリー新語辞典」より）
※スタンドアローン【stand alone】：コンピュータを他のコンピュータと接続せずに利用する形態。（「Yahoo!コンピュータ」より）

問５　貴社のネットワーク化の状況についてお伺いします。該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．取引先との間に専用回線を引いている
２．企業内・企業間ネットワーク（イントラネット・エクストラネット（※））を構築している
３．インターネットのようなオープンネットワークに接続している
４．企業内ネットワークを有線で構築している
５．企業内ネットワークを無線で構築している
（無線を利用している理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
６．ネットワークに関しては特に何も保有・構築していない
７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※イントラネット【intranet】：〔イントラは内部の意〕インターネットの技術を利用した，組織内の情報通信網。電子メールやブラウザーなどで情報交換を行い，情報の一元化・共有化を図る。（「デイリー 新語辞典」より）
※エクストラネット【extranet】：〔エクストラは外の意〕複数の企業・組織のイントラネットを接続し，情報交換や取引に利用するネットワーク-システム。（「デイリー 新語辞典」より）

問５付問　『２．企業内・企業間ネットワークを構築している』と回答された企業にお伺いします。
構築の目的は何ですか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．作成した文書データの共有
２．事務的な書類の電子化
３．社内通達・回覧等の電子化
４．会議室・施設予約情報の共有
５．スケジュール状況の共有
６．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問５付問　『６．ネットワークに関しては特に何も保有・構築していない』と回答された企業にお伺いします。ネットワーク化を行っていない理由は何ですか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．必要性がない
２．効果が見えない
３．資金不足
４．知識のある人材がいない
５．メーカーやシステム業者等の相談相手がいない
６．セキュリティが不安
７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問６　貴社ではこれまでにウイルスなどによる何らかのセキュリティに関わる被害を受けたことがありますか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．被害を受け、業務に支障がでたことがある
２．ウイルス等の存在は確認されたが、対策ソフトの事前導入により被害を未然に防いだことがある
３．これまで被害にあったことはない
４．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問６付問　『１．被害を受け、業務に支障がでたことがある』と回答された企業にお伺いします。具体的な復旧にあたってはどのようなところに相談しましたか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．購入先のメーカーやベンダー等へ相談した
２．契約しているプロバイダ等へ相談した
３．公的機関等へ相談した
４．コンピュータに詳しい友人・知人等に相談した
５．社内に詳しい者がおり、対応できた
６．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問７　社内でのメールアドレスの保有状況についてお伺いします。該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．社員全員がメールアドレスを保有している
２．幹部社員のみ保有している
３．各部門で１つ保有している
４．会社代表のメールアドレスのみを保有している
５．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問８　インターネットの利用環境についてお伺いします。該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．常時接続による利用
２．ダイアルアップによる利用
３．利用しない（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
４．利用できない（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
５．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問９　電子メールをどのように活用していますか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．顧客への定期的な情報発信　　２．社内での事務連絡
３．出先の社員とのデータ共有　　４．社外取引（見積や受発注）
５．官公庁への手続き　　６．ホームページ上での販売申込み用
７．ホームページ上からの問合せ用　　８．全然活用していない
９．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 10　グループウェア（※）の導入状況についてお伺いします。
該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．既に導入し、利用している　　２．近い将来導入し、利用したいと考えている
３．導入していない・必要ではない　　４．わからない
５．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　）

※グループウェア【groupware】: コンピュータネットワークを利用して、複数の人間からなるグループでの情報共有、およびそれらの相互作用を円滑化するソフトウェアの総称。代表的なグループウェアの機能としては、電子会議室、ドキュメントデータベース、電子メール、ワークフロー管理、スケジュール管理などがある。（「アスキーデジタル用語事典」より）

問 10 付問　『１．既に導入し、利用している』『２．近い将来導入し、利用したいと考えている』と回答された企業にお伺いします。具体的な利用業務（利用したい業務）はどのようなものですか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．日常業務の連絡・周知・確認　　２．社内会議、幹部会議等の結果の連絡・周知
３．文書の決裁・執行　　４．スケジュール・工程進捗等の確認
５．共有情報の蓄積・利用　　６．社内会議室・施設等の利用管理
７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 11　グループウェアの構築方法と運用方法について、該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

<構築方法>
１．市販パッケージ製品をそのまま導入　　２．市販パッケージ製品を改良して導入
３．Yahoo 等の無料サービスを利用　　４．アプリケーションサービスプロバイダーを利用
５．自社独自のソフトを外部に開発委託して導入　　６．自社独自のソフトを自社開発して導入
７．自社独自のソフトを外部と共同開発して導入　　８．親企業のソフトをそのまま導入
９．その他（具合的に：　　　　　　　　　　　　　　　　）
<運用方法>
１．社内で責任者　　２．アウトソーシング　　３．リモート操作
４．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 12　貴社では業務遂行のためにモバイル（※）環境を構築・利用していますか？
該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．既に構築し、利用している　　２．近い将来構築し、利用したいと考えている
３．構築していない・必要ではない　　４．わからない
５．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　）

※モバイル【mobile】：〔可動性の，移動式の，の意〕オフィスや自宅以外の場所から，携帯型パソコン・携帯情報端末（ＰＤＡ）や携帯電話・ＰＨＳなどを使い，ネットワークを通じて情報をやりとりすること。
また，それに用いる機器のこと。（「デイリー 新語辞典」より）

問 13　モバイル機器の導入目的は何ですか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．得意先顧客等との受発注取引　　２．入金取引　　３．社内等との連絡手段
４．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＜Ⅳ　ホームページの状況についてお伺いします＞

問 14　ホームページを開設していますか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．開設済み
２．開設予定である（＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月）
３．検討中
４．開設予定なし

問 15　貴社のホームページの保有状況についてお伺いします。該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

＜サーバ＞
１．自社でサーバを構築しコンテンツも自社で作成
２．自社でサーバを構築しコンテンツは他社が作成
３．自社サーバの運営管理を他社に委託している（ハウジング）
４．プロバイダにサーバを構築しコンテンツは自社で作成（ホスティング）
５．プロバイダにサーバを構築しコンテンツも他社が作成
６．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＜コンテンツ＞
１．内部で全て作成し、更新・メンテナンスも行っている
２．外部に依頼して作成したが、更新・メンテナンスは社内で行っている
３．外部に依頼して、作成及び更新・メンテナンスも行ってもらっている
４．現在は持っていないが、近い将来保有したい
５．今後も特段必要なく、持つつもりはない
６．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 16　貴社ではメールを利用して行う連絡や文書・データ等の送受信している内容・種類にはどのようなものがありますか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．メーリングリスト等を活用した、自社の企業情報や製品・商品・サービスなどの紹介
２．得意先・顧客等との製品・商品・サービスなどの受注、販売、予約受付、各種データ交換等
３．外注先や購買先等との製品・商品・サービスなどの発注、購入、各種データ交換等
４．得意先・顧客等からのクレーム等も含めた利用者の反響や声の収集
５．新卒採用、中途採用など人材の募集・受付
６．社員への情報伝達・周知
７．インターネットは利用していない
８．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 17　貴社ではＷｅｂサイト（※）（自社サイト・他のサイト）をどのように活用していますか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．ホームページ等を活用した、自社の企業情報や製品・商品・サービスなどの紹介
2．得意先・顧客等との製品・商品・サービスなどの受注、販売
3．外注先や購買先等との製品・商品・サービスなどの発注、購入
4．入金・振込・照会など銀行取引やカード決済等に関わる処理
5．得意先・顧客等からのクレーム等も含めた利用者の反響や声の収集
6．新卒採用、中途採用など人材の募集・受付
7．市場情報や業界動向、他社企業情報などの収集
8．様々なアイデア、知識等の収集
9．インターネットは利用していない
10．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※Ｗｅｂサイト：「ウェブページ」「ホームページ」などともいわれる。「ウェブ」は「ワールド・ワイド・ウェブ（WWW）」の「Web」（原語の意味は「クモの巣」）で巨大なネットワークであるインターネット網の「網」の部分を指しているが、ほとんどインターネットと同義。「サイト」は「登録場所」のこと。（「アスキーデジタル用語事典」より）

問 18　ホームページの更新頻度はどれくらいですか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．毎日　　2．２・３日毎　　3．１週間毎
4．２週間毎　　5．１ヶ月毎　　6．不定期（おおよそ＿＿＿＿＿間隔）
7．更新していない
8．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 19　携帯Ｗｅｂに対応していますか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．はい（携帯Ｗｅｂ用のサービス内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
2．いいえ

問 20　ホームページ開設の成果について、該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．期待以上の成果を上げている　　2．期待どおりの成果を上げている
3．まあまあ成果を上げている　　4．あまり成果を上げていない
5．逆効果である

問 20 付問　『４．あまり成果を上げていない』『５．逆効果である』と回答された企業にお伺いします。
その理由は何だとお考えですか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．内容が足りない　　2．デザインが陳腐
3．ハードウェアの性能が低い　　4．人手が足りず、情報更新の頻度が少ない
5．通信販売のアクセス数が少なく、メリットがない
6．ホームページ作成のアウトソーシング費用が掛かり過ぎる
7．セキュリティ問題が未解決・不正侵入による実被害を受けた
8．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＜Ⅴ　ＩＴ化推進体制についてお伺いします＞

問 21　社内の情報化の責任者はどなたが担当していますか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．経営者自身が担当
2．ＣＩＯ（情報担当役員）を設置
3．ＩＴ部門や情報システム部門の責任者
4．いない
5．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 22　社内の業務遂行の中で、現在のＩＴ活用状況をどう評価しますか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．一般的な業務処理には十分活用している
2．一般的な業務処理に対して十分活用しているとは言えず、今後更に活用する必要がある
3．経営面から見た管理・マネージメントには十分活用している
4．経営面から見た管理・マネージメントに対して十分活用しているとは言えず、今後更に活用する必要がある
5．社内外の連絡・報告・情報交換（コミュニケーション）などの手段として十分活用している
6．社内外の連絡・報告・情報交換（コミュニケーション）などの手段に対して十分活用しているとは言えず、今後更に活用する必要がある
7．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 23　ＩＴ化に関して、社員の知識・技能等の課題についてどのようにお考えですか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．パソコン機器やアプリケーション（ソフト）の操作・利用などの基礎的な能力の不足
2．ＩＴを活用した社内の問題点や課題の抽出・分析などに必要な力の不足
3．ＩＴを活用した社内の問題点や課題の解決・改善などに必要な力の不足
4．ＩＴを活用した社内意志決定力やそのスピード力・スピード化への対応力の不足
5．社内外に対する表現力・プレゼンテーションなどへの活用力の不足
6．社内外に対する連絡・報告・情報交換などへの活用力の不足
7．日進月歩の技術革新等への活用力の不足
8．日常的なトラブル、メンテナンスあるいはセキュリティなどに対応する技能の不足
9．社員間での知識、能力のバラツキが大きいこと
10. 個人知識から知識・情報の社内共有化への内部活用能力の不足
11. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 24　ＩＴ化に関して、貴社では社内人材の育成・教育について今後どのように行っていきたいと考えていますか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．主に社内での講習会の開催
2．主に外部の機関・団体などの講習会への派遣
3．社内及び社外の講習会等の組み合わせ
4．日常の仕事を通じた育成・教育
5．社内外の講習会への参加及び日常の仕事を通じた育成･教育の組み合わせ
6．社員個々人の努力や資質向上にまかせたい
7．考えてはいない
8．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 25　ＩＴ化推進のための、現在の人材育成策として、該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．石川県ソフトウェア開発研修センターで研修させている
2．パソコンスクールやその他民間の研修機関で受講させている
3．業界団体・公共機関の主催する研修を受講させている
4．講演会や展示会等へ参加し、情報収集させている
5．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 26　ＩＴ化を推進していくうえで、必要としている人材、不足しているスキルについてお伺いします。
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

＜必要としている人材＞
1．ＣＩＯ（情報担当役員）　2．ネットワーク管理者　3．セキュリティ管理者
4．アプリケーション　5．保守担当者　6．保守・運用担当者
7．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
＜不足しているスキル＞
1．ネットワーク構築　2．セキュリティスキル
3．アウトソーシング先との折衝能力　4．ソフトウェアベンダーとの折衝能力
5．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 27　貴社の意識として、今後の対外的な取引をどのような方向へ進めて行こうとお考えですか？
該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．今後の取引の中心を電子化へと積極的に移行させて行きたい
2．今後の取引の中心を電子化へと徐々に移行させて行きたい
3．取引のうち、電子化に移行するものはごく一部で、今後とも従来型のやり方が中心となる
4．今後の取引は、電子化に移行するものと、そうでないものとの切り分けを明確にしていく
5．よくわからない
6．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 28　独立したＩＴ部門や情報システム部門は設置されていますか？
該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．設置済み　（＿＿＿＿＿年＿＿＿月）
2．今後設置予定　（＿＿＿＿＿年＿＿＿月）
3．アウトソーシング済み　（＿＿＿＿＿年＿＿＿月）
4．今後アウトソーシング予定　（＿＿＿＿＿年＿＿＿月）
5．既存の部門の社員が兼務
6．設置予定なし

＜Ⅵ　ＩＴ化投資についてお伺いします＞

問 29　ＩＴ化に関して、貴社ではその投資をどのように行ってきていますか？
該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．ＩＴ化投資は、経営計画等で明確に予算づけられ、これに基づき計画的に投資している
2．ＩＴ化投資は、明確な予算付けはしていないが、必要に応じ社内会議や役員会等での決定を通じて、適宜投資している
3．計画的ではないものの、社内外の状況を判断して、適宜投資している
4．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 30　ＩＴ化に関する投資は、今後どのように行っていきたいと考えていますか？
該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．積極的に投資規模を広げていきたい　　2．現状の投資レベルを維持していきたい
3．削減する　　4．考えてはいない
5．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 31　貴社と同じような規模の企業や同業他社と比較した場合、貴社のＩＴ化への取り組みについて、どのようにお考えですか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

1．進んでいる　　2．同等レベル　　3．遅れている　　4．よくわからない
5．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 32　これまでＩＴ関連投資を行ってきた主な部門はどれですか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．営業部門　　2．直接販売部門　　3．生産・製造部門
4．購買部門　　5．設計部門　　6．研究開発部門
7．人事・採用部門　　8．総務・管理部門　　9．物流部門
10．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 33　ＩＴ関連の投資で、今後重点を置いて行きたい部門はどれですか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．営業部門　　2．直接販売部門　　3．生産・製造部門
4．購買部門　　5．設計部門　　6．研究開発部門
7．人事・採用部門　　8．総務・管理部門　　9．物流部門
10．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＜Ⅶ　ＩＴ化の課題・要望等についてお伺いします＞

問 34　今後ＩＴ化を進めていくためには、どのようなことが必要とお考えでしょうか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．通信速度の高速化や利用エリアの拡大など、通信環境の充実
2．企業のＩＴ化に関わる専門性の高い相談・アドバイス機能の充実
3．講習会、研修、セミナーなどスキルアップ機会の充実
4．ＩＴ化を目的とした融資、助成などの資金面での充実
5．ソフトやコンテンツ作成、ネットワーク構築などを提供する情報サービス関連企業の育成、誘致
6．電子商取引、ブロードバンド、情報家電など今後のＩＴ社会に対する見通し・目標の明確化
7．よくわからない
8．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 35　これまで進めてきたＩＴ化について、問題点・課題等はありますか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．現状十分効果を上げており、問題点・課題は特にない
2．今ひとつ全体的に効果が見えない
3．高価なパッケージソフトを導入したが、機能の一部しか使われていない
4．時間を掛けて構築したシステムが、すぐに陳腐化した
5．システムを活かす業務改善ができない
6．特定部門のみのシステムを構築したため、拡張性がない
7．人材がいない・人材が育たない
8．人材育成のための助成制度が現状では使えない
9．顧客との関係が期待した程向上していない
10. 高額なシステムの割に効果が上がっていない
11. システム導入の際、業務内容を詳しく分析した適切なアドバイスがなかった
12. システム導入の際、提案されたシステムの価格が適正かどうか分らない
13. システム業者に依頼したが、企業経営について知らない
14. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 36　今後のＩＴ化推進において、どのような外部支援が必要ですか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

1．低コストなシステムの提案
2．拡張性のあるシステムの提案
3．自社の業務に合ったＩＴ化のアドバイス
4．情報機器選定のアドバイス
5．ハード・ソフトの操作方法の指導
6．情報機器のメンテナンス
7．ＩＴ化投資の資金
8．ＩＴを担う人材の確保・提供
9．ＩＴ関連の研修の充実
10. 収集した情報の活用方法のアドバイス
11. ＩＴ化による新ビジネス展開へのアドバイス
12. 古いハードウェアの回収
13. 税制上の償却期間の短縮化
14. 商取引に関する規制の緩和
15. 消費者保護に関する法令の整備
16. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 37　石川県内において、以下のようなＩＴ化推進のための機関があることをご存知ですか？
各機関等について、＜選択肢＞より該当する番号１つを選んで下さい。

１．（財）石川県産業創出支援機構（ＩＳＩＣＯ）　（　　　）
２．（株）石川県ソフトウェア研修開発センター　（　　　）
３．石川県工業試験場　（　　　）
４．北陸ＩＴ研究開発支援センター　（　　　）
５．いしかわクリエイトラボ　（　　　）

＜選択肢＞
ａ：すでに活用している　　ｂ：知っているが活用していない
ｃ：知らないので詳しい情報がほしい　　ｄ：知らないし興味もない

問 38　ＩＴ化を進めるに関して、公的機関等に何かご要望・ご提言などがあればお聞かせ下さい。

＜Ⅷ　情報関連企業対象＞

※　電気・電子機器製造、情報処理サービス、出版・印刷、映像・音楽、デザイン、広告、通信サービス、コンサルティング等

【以下の設問は、情報関連の売上がない場合には、お答え頂かなくて結構です】

問 39　受注について、県内企業と北陸３県（富山・福井）の企業、北陸３県以外の企業の割合はどれくらいですか？

１．県内の市場　（約＿＿＿＿＿％）
２．北陸３県の市場（富山・福井）　（約＿＿＿＿＿％）
３．首都圏の市場　（約＿＿＿＿＿％）
４．首都圏以外の地域の市場　（約＿＿＿＿＿％）
５．海外の市場　（約＿＿＿＿＿％）

問 40　貴社では、研究開発を行っていますか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．研究開発を行っている　　２．研究開発を行っていない　　３．今後、研究開発を行う予定

問 41　ＩＴ関連特許の保有状況、及び平成１４年度の申請状況を教えて下さい。
また、それぞれについて、ビジネスモデル特許の状況も教えて下さい。

・特許保有数　＿＿＿＿＿件（うちビジネスモデル特許＿＿＿＿＿件）
・本年度申請状況＿＿＿＿＿件（うちビジネスモデル特許＿＿＿＿＿件）

問 42　知的財産管理部門を置いていますか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．専任がいる　　２．兼任がいる　　３．兼任もいない

【以下の設問は、ソフトウェア・システム開発企業以外は、お答え頂かなくて結構です】

問 43　貴社で開発しているソフトウェアやシステムで、以下の概念を取り入れたものはありますか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．ＣＲＭ（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）
２．ＳＣＭ（サプライ・チェーン・マネジメント）
３．ＥＲＰ（エンタープライズ・リソース・プランニング）
４．DWH（データ・ウェアハウス）
５．KM　（ナレッジ・マネジメント）
６．ＳＦＡ（セールス・フォース・オートメーション）
７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 44　どのような業種からの受注が多いですか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。
また、それらの受注システムを＜選択肢＞から全て選んで下さい。

１．繊維（　　　　）	２．化学（　　　　）	３．窯業・土石（　　　　）
４．鉄鋼（　　　　）	５．金属（　　　　）	６．一般機械（　　　　）
７．電気機械（　　　　）	８．輸送用機械（　　　　）	９．その他製造業（　　　　）
10. 建設（　　　　）	11. 卸・小売（　　　　）	12. 運輸（　　　　）
13. 旅館・ホテル（　　　　）	14. 飲食業（　　　　）	15. 電気・ガス（　　　　）
16. 広告（　　　　）	17. 旅行・レジャー（　　　　）	18. その他サービス業（　　　　）
19. 金融（　　　　）	20. その他非製造（　　　　）	

＜選択肢＞
ａ：ＣＲＭ　　ｂ：ＳＣＭ　　ｃ：ＥＲＰ　　ｄ：DWH　　ｅ：KM　　ｆ：ＳＦＡ
ｇ：その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 45　どのような部門についての受注が多いですか？
該当する番号を多い順に２つまで選んで○をつけて下さい。

１．内部管理部門	２．営業部門	３．購買部門	４．物流部門
５．生産・製造部門	６．販売部門	７．商品開発・設計部門	

８．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 46　貴社は現在、自社製品をもっていますか？該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．自社製品をもっている
２．自社製品をもっていない、今後も持つ予定はない
３．自社製品をもっていないが、今後、開発してもちたい

問 46 付問　『１．自社製品をもっている』と回答された企業に、自社製品の市場及び割合についてお伺いします。

１．県内の市場　　　　　　　　　　（約＿＿＿＿＿％）
２．北陸３県の市場（富山・福井）　（約＿＿＿＿＿％）
３．首都圏の市場　　　　　　　　　（約＿＿＿＿＿％）
４．首都圏以外の地域の市場　　　　（約＿＿＿＿＿％）
５．海外の市場　　　　　　　　　　（約＿＿＿＿＿％）

問 47　受注の内、再発注を行わず、社内で開発を行う割合はどの程度ですか？
該当する番号１つを選んで○をつけて下さい。

１．２割以下　　２．５割以下　　３．８割以下　　４．全て社内開発

問 48　再発注先の業者を選定する要因は何ですか？該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．過去の経緯　　２．営業力　　３．商品の優位性　　４．値段
５．人を見て　　６．提案力　　７．有資格者数　　８．技術力
9．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　）

問 49　情報系有資格者への報奨金制度はありますか？また、どの資格にいくらですか？

１．ある　　２．ない
・資格（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）報奨金額（＿＿＿＿＿＿＿＿円）
・資格（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）報奨金額（＿＿＿＿＿＿＿＿円）
・資格（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）報奨金額（＿＿＿＿＿＿＿＿円）

問 50　本年度の教育訓練計画についてお伺いします。

・研修等経費　　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿万円）
・延べ研修受講人員（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人）

問 51　今後業務を拡大するために、どのようなことが課題となりますか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．人材　　２．オフィススペース　　３．資金
４．情報　　５．受注機会　　６．新規事業分野への進出
７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　）

問 51 付問　『１．人材』と回答された企業にお伺いします。具体的に不足している人材はどの職種ですか？
該当する番号全てを選んで○をつけて下さい。

１．システム開発に関する全工程を管理遂行できる「スーパーＳＥ」
２．ＩＴ技術が分かる経営陣（「ＩＴコーディネータ」的能力）
３．ＢｔｏＢやＢｔｏＣ等のビジネスが創造できる「ｅビジネスプロデューサ」
４．文化資産をＩＴ技術によりビジネスに結びつけられる「アセットマネージャ」
５．ＩＴ等の研究開発投資を収益に結びつけられる「ＭＯＴ型マネージャ」
６．経営全体を俯瞰できる「ＭＢＡ型マネージャ」
７．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　）

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
締め切り：１１月２５日（火）までに、返信用封筒でお送り下さい。

付録資料　B　　　　その他回答項目一覧

アンケート用紙に設けられた「その他」欄の記入内容は以下のとおりである。明らかに重複するものを除き、記入されたとおりの内容である。ただし、公共機関以外に、具体的名称が記入されている場合は、その部分を削除または修正した。

問１　パソコン導入状況

▽１名に２台以上導入　▽事務職は１人１台の割合で導入
▽事務職等は１人１台、その他部門は数台導入
▽事務職は１人に１台、企画部は１人に２台、従業員は５人に１台
▽管理職以上全員と各部署に１台　▽技術、管理部署では１人１台
▽事務所１人１台、工場１部門１台　▽業務部１人１台
▽現場監督員は１人１台　▽職場責任者に各１台
▽現場監督者に１台、会社一般総務に２台　▽間接工５人に対して４台導入
▽個人で保有している　▽各人が個人所有で社所有は５台（全２０台）
▽業務上の必要に応じて導入　▽各部門に必要な台数を導入
▽社用１台、その他各個人用持込６台　▽１５台保有　▽社で２０台

問１付問　パソコンを導入していない理由

▽近々所有予定　▽仕事が減少しているから

問２　パソコンの使用目的

▽工事成果関連書類　▽CAD による製図・設計・計算・構造計画等
▽品質管理　▽出荷管理　▽製品検査　▽仕入管理　▽原価管理
▽インターネットによる情報収集　▽写真印刷、画像処理
▽広告制作に関わる用途使用、データ通信も含む　▽デザイン業務
▽POP 作成　▽Web 構築、ノンリニア編集、メールマガジン発行等▽スキャニング
▽DTP・ホームページ作成　▽印刷用版下作成
▽機械プログラム作成　▽ソフトウェア開発　▽開発用・テスト用・メンテ用
▽システム開発　▽自動車修理に関する概要管理
▽FDI 受注　▽電子入札、電子納品　▽配車表の送信、運転管理
▽ＮＣ加工　▽社屋の管理　▽キーパンチ
▽技術計算　▽専門的計算　▽積算業務　▽顧客より依頼の計算業務等
▽社外からの生産データ　▽報告書作成（成果品）　▽請求書作成
▽取扱説明書・パンフレット作成　▽ＤＭ等の作成　▽調剤の計算・記帳・レセプトの作成

問３　ソフトウェアの構築方法

▽会計事務所のソフト　▽発注者開発システム使用
▽業界のソフトを使用　▽紙卸業のソフトを導入　▽メーカー開発ソフトを導入
▽仕入先本部開発のソフト利用　▽基幹系は自社開発、情報系は主にパッケージ
▽外部企業ネットに加盟　▽航空貨物通関情報処理用ソフト導入
▽協同組合のソフトを導入　▽親会社で管理しているのでわからない

問４　パソコンの運用環境

▽業務用パソコンは全て LAN 化されているが、設備付属のものは個別で使用
▽社内インフラ構築中　▽一部顧客と EC 接続

問５　ネットワーク化の現状

▽電話回線にて取引先とデータの交換をしている　　▽仕入れのみ EOS 発注
▽取引先と LAN で接続されている　　▽町のホームページに載せている
▽交換回線　　▽自宅との間に VPN を構築している
▽EDI　　▽個人のパソコンを一部社用としてネットワークに接続して使っている

問５－５　無線を利用している理由

▽配線が不要なため　　▽LAN 工事不必要、倉庫内移動しての利用ができるから
▽コストが安いため　　▽社員間の会議の効率化を図っている
▽クライアント等に行うプレゼンテーションや会議などに用いるため
▽ノートパソコンの可搬性利用、室内配線の省略のため

問５付問　企業内・企業間ネットワーク構築の目的

▽取引先との EDI システム（受注データ送受信、図面情報等）　　▽CTI と CRM
▽注文書の発行、メール受信　　▽受発注業務
▽リモート入力による DB　　▽印刷原稿・校正のやりとりをデータ送信で実施
▽在庫情報のエクストラネット化　　▽グループウェア導入
▽加工したデータの一時保管　　▽外部からの侵入を防ぐため
▽自社開発のグループウェアで自社・グループ間で共有
▽販売管理、在庫管理　　▽生産管理　　▽POS のデータ管理　　▽進渉管理
▽ISO 最近版管理　　▽基幹、業務データの共有（物流・販売・受注・在庫等）
▽基幹業務ソフトの運用　　▽データ入力したものを一括して処理するため
▽インターネット回線の共有化及びメーカーとの VPM 接続のため
▽給与データ・営業日報など一部について行っている　　▽地域市況・元売情報の入手
▽ホスト接続に LAN を使用しているため　　▽当社品質システムに利用
▽社内システムへのアクセス　　▽遠隔からのコントロール
▽製造用加工プログラムデータの元管理　　▽資産の共有、事務及び仕事の簡素化及び合理化
▽技術データの共有　　▽店舗 POSS データの共有　　▽DTP 制作データの共有・出力
▽受注～出荷までの共有　　▽図面の共有　　▽資源の共有　　▽加工データ共有
▽親企業ソフトの共有　　▽ソフトの共有　　▽オンライン端末・File・プリンター共有
▽生産管理データの共有　▽作成した画像データの共有　　▽卸元より入荷、請求データの共有
▽アプリケーションシステムの DB の活用　　▽場内モニターカメラの他所での利用
▽開発に関する各種データ・情報の管理・共有　　▽開発・メンテナンス▽ソフトウェア開発
▽外部情報へのアクセス、開発システムの ASP としての提供
▽クライアントサーバ型の業務システムの運用　　▽経費の支払、稟議書の決済
▽ホストコンピュータとのオンライン端末としての接続

問５付問　ネットワーク化を行っていない理由

▽グループ内 LAN を構築予定　　▽近く構築予定　　▽現場の作業環境が悪い
▽ウイルスの被害が心配　　▽市場が大きくない　　▽検討中　　▽推進中

問６　セキュリティ被害状況

▽ハッキングを受けたが、適切に対応し被害を未然に防いだ
▽故障があっても、ウイルスが原因かわからない

問６付問　被害時の復旧方法

▽親会社に相談した　　▽ワクチンソフトを購入して駆除した　　▽買い換えた

▽システム部門が対策した　▽社内に対応組織・制度がある
▽親会社のセキュリティ対策室やウイルス対策専門業者等に相談

問７　電子メールアドレスの保有状況
▽事務職員のみ全員保有　▽管理職、事務部門は全員保有
▽工事部門技術者全員保有　▽営業社員を中心にアドレス保有
▽営業部・制作デザインスタッフ全員、他各部門１つ　▽各部門に１個、業務部は１人１つ
▽生産現場従事者を除く社員が保有　▽間接部門社員及びマネージャ社員
▽デザイン部、製造部では全員保有　▽正規雇用者のほぼ全員が所有
▽幹部社員及び受注担当者　▽営業、管理部門全員
▽メンテ者以上スタッフ含め TOP まで全て保有　▽パソコン台数分保有
▽配送社員以外全員　▽正職員の 70%保有
▽２人で１つのアドレスを保有　▽社で数人が保有　▽端末保有している社員全員
▽管理職以上全員と各部署に１つ　▽工務部、CAD、代表アドレス
▽社員全員の他に、ネット通販用、問い合わせ用等複数使用　▽会社代表と経理専用
▽会社代表、パソコン用に１つ　▽会社代表、役員専用の２つ
▽会社代表と、個々に携帯のアドレスを保有　▽会社代表のアドレスの他、図面専用に２つ保有▽幹部社員、代表アドレス、Webshop 用アドレスが存在
▽個人として保有　▽パソコン利用者のみ保有している
▽携帯電話のメールアドレス　▽役職者は全員・一般職は申告制

問８　インターネットの利用環境
▽プロバイダへの専用回線　▽個別に使用している
▽接続可能になっているが目下使っていない　▽利用方向で検討中
▽社内で個人が常時接続で利用　▽各自任意利用可としている

問８－３　インターネットを利用しない理由
▽ウイルスが心配　▽経費削減のため　▽効果が見えないため　▽必要性がない
▽環境が整っていない　▽必然性、利用法、販売戦略が確立されていないため

問９　電子メールの活用状況
▽関連業者、取引先との業務連絡　▽メールマガジン等の情報収集
▽社外への事務連絡　▽顧客への情報受発信　▽FAX の代わり
▽CAD（図面等）データの送受信　▽リクルート
▽役所提出書類など　▽業界の共有利用　▽新しい販路、仕入先開拓
▽デザインの確認、パソコンのエラー障害時の問合せ　▽デザイン校正、打合せ
▽協会等の会議出欠返信　▽DTP データの入出稿
▽添付ファイルにて印刷作成データのやりとり　▽ほぼ全ての情報交換
▽整備振興会のネット上（ホームページ）で中古車の在庫を載せている

問 10　グループウェアの導入状況
▽導入しているが利用していない

問 10 付問　グループウェアの利用業務
▽販売管理、在庫管理　▽海外工場との進捗状況チェック　▽出退勤管理
▽受注一覧表、注文書、納品書作成　▽OB 客管理、追客情報の管理

▽図面の共有　▽回覧板　▽仕入れ価格データベースへのアクセス
▽プライベート分野　▽輸出入貨物通関物流、在庫管理　▽CAD データの共有

問 11　グループウェアの構築方法
▽航空貨物通関情報処理システム導入　▽詳細はわからない

問 11　グループウェアの運用方法
▽親企業に委託　▽通関情報処理システムセンター

問 12　モバイル環境の構築・利用
▽持っているが活用していない
▽テスト的に行ったことはあるが、当社の業務形態に当てはまらない

問 13　モバイル機器の導入目的
▽外出先での業務処理、連絡手段　▽グループ企業や社内との連絡手段
▽自主事業として　▽銀行との入出管理
▽顧客情報の登録及びメモ代わりに利用　▽施工管理
▽グループウェアに参加。今の効果は遅延の回避が主　▽医事業務、介護支援等
▽外出時のメール確認、資料等の作成送付　▽プライベート分野
▽客先と業務連絡、取引先との業務連絡用。出張時のメール受信用　▽営業日報等
▽ホームページアクセス・メール送受信　▽社員及び派遣社員等の連絡・入出店管理
▽顧客との連絡　▽開発・メンテナンス　▽プレゼン・顧客情報管理

問 15　ホームページの開設状況（サーバ）
▽本社メーカーに全て依頼　▽組合にサーバを持ち、各組合員が保有
▽システム会社にまかせている　▽商工会ＨＰ中に作成
▽バーチャルドメイン：プロバイダのサーバ上の領域を賃借　▽レンタルサーバ
▽サーバ、コンテンツともに他社　▽ASP にサーバを保持しているが作成の予定は未定
▽関連団体 Web ページへの掲載　▽外部発信用サーバは親会社、コンテンツは自社
▽親企業のサーバでコンテンツは外注で作成

問 15　ホームページの開設状況（コンテンツ）
▽親会社で運用　▽内部で全て作成したが、現在更新・メンテナンスを行っていない
▽メンテナンスは特にしていない　▽システム会社にまかせている
▽内部でメンテナンスし、更新は親会社に依頼　▽作成はしたが更新はしていない
▽内部と外部作成のミックス、メンテナンスは原則社内でしている　▽今後更新する予定

問 16　メールの活用方法
▽発注先との連絡、現場との連絡　▽顧客との連絡　▽情報収集
▽見積書、出来高管理等必要書類　▽図面、見積等　▽関連会社との連絡
▽異業種間交流　▽金融機関からの結果報告受信のみ
▽外国への必要情報の送信　▽グループ間の共通情報交換等
▽会計事務所への経理情報の交換　▽同業者との情報交換　▽社内の連絡事務
▽官公庁等との連絡　▽本部との事務連絡　▽加入団体からの情報入手
▽会議出欠返信、伝達事項　▽自主研究・個別プロジェクトにＭＬを運用

問 17　Web サイトの活用方法

▽部品カタログ、図面等の活用　▽電子入札、電子納品等に活用予定
▽情報検索　▽案内文書、事務連絡　▽取扱製品の情報収集
▽親会社間での Web サイト利用（企業間情報及び統一データ交換）　▽ネットビジネス
▽自社情報の公開・ほぼ全ての業務に関する調査対象

問 18　ホームページの更新頻度
▽親会社で管理しているのでわからない　▽現在閉鎖中　▽随時　▽必要時
▽シーズン毎　▽時々　▽4～10 月は更新なし・11～3 月は約 2 週間毎

問 18-6　更新頻度が不定期
▽10 日　▽３週間　▽６週間　▽1.5 ヶ月　▽２ヶ月　▽３ヶ月
▽４ヶ月　▽５ヶ月　▽６ヶ月　▽８ヶ月　▽１年　▽２～３年
▽年に２～３回

問 19　携帯 Web のサービス内容
▽スキーシーズン中の天候、積雪情報　▽アルバイト情報　▽求人募集
▽転送メール　▽会社概要、製品案内、事業所案内　▽グループウェア
▽PC 同様のコンテンツ展開　▽キャリア３社用携帯サイト
▽フロネットウェーブ　▽運転手への配送指示、変更通知、終了報告

問 20 付問　ホームページが成果を上げていない理由
▽開設前のため不確定要素が多いから　▽業種は電子取引になじまない
▽効果の把握が困難　▽消費者と直接つながらない業種のため、アクセス数が少ない
▽会社案内、自社製品の紹介のみ程度のものなので期待していない
▽官庁の工事のためメリットがいまのところない　▽顧客への PR が主目的であるため
▽定番商品ではないため、売上にはつながらない
▽はじめからそれほど効果は期待していない　▽そもそも業種的に効果を期待していない
▽一般向きではないため、目立った効果は得られない
▽未公開のため、グループ会社（イントラ）からのアクセス数が少ない

問 21　社内の情報化の責任者
▽経理部　▽総務部　▽業務部　▽製造部　▽営業部
▽技術部　▽監査部と企画部　▽宣伝企画課　▽工事部
▽工務部長　▽建築部長　▽経理担当が兼務　▽経営企画部門責任者の兼務
▽品質管理部次長　▽管理部長　▽ソフト担当者
▽役員が兼務　▽専務、常務　▽本社　▽推進委員会
▽各事業部で責任者を決めている　▽専門の部署がなく併任

問 22　ＩＴ活用状況
▽使える者しか使っていない　▽ＩＴは企業にあったように利用すべきで、ＩＴが全てではない
▽必要最小限に　▽まだまだ不十分
▽ＩＴの活用が必要だと思えない。理由が従業員のパソコン操作が未熟なため
▽経営者に相当の理解力がないと全く意味のないものになりかねない。もっとわかりやすい操作が必要である

問 23　ＩＴに関する課題
▽多くを本社に委ねており自社の体制が弱い　▽社内規模になっていない
▽企業レベルにあったようにする　▽専門業種　▽知識がない

▽全体的なレベルアップ　▽年配者の理解度の不足　▽均等に共有している
▽パート・アルバイト社員の流動性　▽すべてに関して初心者
▽当社としての機能発揮として親会社からの指導がある　▽特に課題はない

問 24　ＩＴ化に関する社内人材育成・教育状況
▽社員が建設 CALS/EC 等のシステムに対応できるように教育したい
▽必要に応じて　▽直接指導　▽検討中

問 25　ＩＴ化推進のための人材育成策
▽自助努力にまかせている　▽全てアウトソーシング
▽社内研修をしている　▽メーカー開発の研修に参加
▽親会社の指導、研修に参加している　▽希望があれば研修させる
▽研修会等の情報は提供しているが自主参加　▽ベンダーから講師の派遣を依頼
▽社内個人間の情報交換　▽取引基幹がある　▽インターネット等で情報収集
▽社内人材にＩＴコーディネータ資格を取得させている
▽民間の出入り業者よりの知識習得　▽SE 経験者による個別指導
▽OJT（シスアド資格者による）　▽グレープ専門家に依頼
▽日常の仕事を通じて教育している　▽石川県電算センターでの研修に参加
▽職員が高齢化しており、育成策なし

問 26　ＩＴ化推進に必要としている人材
▽SE　▽親会社主導　▽開発言語、dbMAGIC　▽具体的なノウハウを得ている人
▽業務設計、システム企画ができる人材　▽足りない部分はアウトソーシング
▽事業企画担当者　▽開発　▽専任者管理者
▽ソフトウェア設計、作成担当　▽全てをできなくても日常業務をできる担当者
▽デザイナー　▽総合的知識保有者　▽専門職としては不要

問 26　ＩＴ化推進に不足しているスキル
▽Java 開発、Web アプリケーションの作成スキル
▽親会社主導　▽社内人材育成能力　▽ネットワークのトラブルに対応できる能力
▽具体的なノウハウを得ている人　▽ベンダーとの折衝能力だけでなく社員に指導できる能力
▽新ビジネス創出能力　▽電子商取引、電子「認証」システム等に関わるスキル
▽アプリケーション開発　▽専任者管理者
▽知識、技能等の底上げ　▽ＩＴを利用した時の問題提議能力
▽アプリケーション SE　▽データベース構築能力（自社、業務内容に促した）
▽ＩＴ部門に注力するための時間のマネジメント　▽ソフトウェア設計力、作成力

問 27　対外的な取引における電子化について
▽すでに実行している　▽電子化にて取引できる業種ではない　▽親企業次第
▽問屋のＩＴ化が遅れていて情報供給がされていない　▽十分電子化している
▽グループ企業の方針による　▽お客様次第　▽必要に応じて対応していきたい
▽対外的な取引データは親会社のコンピュータを経由して行っている。基本的には現状維持していく

問 29　ＩＴ化の投資
▽投資予定はなし　▽親会社にて対応　▽親会社で計画的に投資している
▽現在の設備にて十分　▽必要に応じて

問 30　ＩＴ化投資の方向性
▽国土交通省、石川県の動向による　▽今後の業務状況次第　▽現システムの維持
▽投資は必要だが経営状態により計画できない　▽必要に応じて対応していきたい
▽ロストパフォーマンスを考えた上で投資する　▽親会社にて対応
▽業務革新の一部として捉えておりＩＴ化投資として特別扱いはしない。必要に応じて投資を進めていく。

問 31　ＩＴ化への取り組みについての意識
▽内容により差異あり　▽進んでいる分野もあれば遅れている分野もある

問 32　ＩＴ化を行ってきた主な部門
▽工事部門　▽品質管理　▽情報システム部門　▽総務・工務部門　▽経理
▽販売促進部門　▽ユーザ管理　▽企画開発室▽積算部門　▽営農部門
▽全部門　▽本社　▽医事業務、介護支援等　▽工務、CAD 関連
▽仕事そのもの（デザイン）　▽経営者　▽電話回線によるセキュリティ
▽一概に答えられない

問 33　今後ＩＴ投資を重点的に行いたい主な部門
▽現状維持　▽情報システム部門　▽経理　▽施工、メンテナンス部門
▽工事部門　▽全部門　▽企画開発室　▽在庫管理等　▽基幹系システム
▽医事業務、介護支援等　▽制作　▽品質管理　▽電子入札
▽部門への投資の中心は PC の設置であり、ほぼ完了している。今後はシステム部門が管理するインフラ（サーバ類）の新設、更新が重点となる　▽一概に答えられない

問 34　今後ＩＴ化推進のために必要なこと
▽資金力の増強　▽設備構築と社員教育　▽個人の意識、知識の向上
▽会社のしくみが整理されているとＩＴ化は達成される。会社のシステム（仕組み）の整理が先決
▽導入コストが高すぎるのでコストを低く抑えたい
▽自他共に護衛をされているが使用頻度が少ない　▽もっと安価に
▽ハード、ソフト開発費用（業者助成）の低下　▽業務に直結したものであること
▽基礎的な知識の学生を沢山会社へ送り出してほしい
▽建設業においては C1-NET の政府・業界としての方針の明確化。更なるＩＴ投資の優遇措置
▽ソフトウェアの共通化、低廉化　▽学校教育段階での基礎的ＩＴ能力の育成
▽業務プロセスの見直し、戦略策定アドバイス
▽親会社指導型となっており、後のシステム活用が充実させていく
▽専門分野でない人でも簡単に操作できる機器の開発を優先してほしい
▽必要な技術を必要な時に採用すればよく、環境のせいにするのは経営者として愚

問 35　これまで進めてきたＩＴ化の問題点・課題等
▽不足している業務の構築　▽親会社の指導に従って導入していく
▽取引先の受注ソフトが高額。そして毎月の費用（保守・専用用紙）も高額
▽グループ会社にて統一した導入となっている
▽ＩＴインフラを利用すべき。本業の業績が立ち上がらない
▽もう一歩ステップアップするためのスキル　▽技術の進歩と追いかけっこの部分がある
▽メンテナンス費用がかかりすぎる　▽使い方が分からない
▽一時は導入を考えたが、現在のシステムでは十分対応ができないため、将来的な導入を考えている
▽部門別には活用できているが、全体的なつながりに欠けている
▽人が扱っていけるハードが出来上がっていない　▽投資効果がわかる指標

▽顧客データ入力等に時間を取れないし、外注化する金もない
▽資金不足、システムが高価でカスタマイズできない
▽人と人との対話（コミュニケーション）が少なくなってきた
▽建設 CALS/EC に向けた取り組みができていない
▽基本ソフトの変化が早い　▽セキュリティ・リスク対策が不十分
▽ＩＴ化に本格的な取り組みをしていない　▽誰かがしてくれるという姿勢（自分でしない）
▽同規模他社より早く社内ラン、１人１台を確立したものの、システム・機器が陳腐化し大きなコストがかかっている
▽OS（Windows）のサポート切れ（Windows98 等の旧式のもの）
▽社会全体がそのような雰囲気になっていない（今ひとつ必要にせまられない）
▽効果は上がっているが、ハード・ソフトの活用が不十分

問 36　今後のＩＴ化に必要な外部支援
▽通信速度の高速化や利用エリアの拡大など　▽親企業主導の研修
▽当団地内の BB インフラ　▽親会社との連携
▽費用対策効果アップのため具体的なオープンシステムを公正に評価する公的機関が必要。この時代にバッチ処理システムに大金を支払っている中小企業が少なくない。
▽セキュリティ対応。高信頼性のある使用可能なハード・ソフトの開発
▽商品名の音声入力による記述　▽日々新しいシステムが開発されているので、その情報等

問 38　公的機関等への要望・提言等
▽ＩＴに関する e-Japan 戦略への理解を推進する施策をドンドン実施して欲しい
▽当社がある工場団地でも、高速通信ができる環境を整備してほしい
▽ＩＴ化にはお金がかかるが、これはすぐには利益にはなりにくい投資なのでどうしても優先順位は下の方にはる。ＩＴ化に対する助成金など、わかりやすい制度でやってほしい
▽従業員向け（個人向けはあったが）の段階ごとのＩＴ講習（できれば無料か安く）
▽今回のアンケート回答者企業へは、毎年年間のセミナースケジュールを送って欲しい
▽公的機関によってＩＴ化のとらえかたが違っていたりする事や認識も薄い様に感じることがある。企業によってはＩＴ化への移行が進まない所や対応の速度も各々違うのでそのへんも視野に入れて検討して欲しい。どんどん先に進んでいっているようなところもある気がする
▽トロンを積極的に支援して誰でも利用、開発できる環境の整備
▽会社の規模や能力によりあまりに差があるため、ひとくくりで考えることはできない。全体の底上げを図りつつ、どのように推進するのがいいのか全体像を示して欲しい（どのような地域社会を目指しているのかということを）
▽取引先が注文等ＩＴ化するといえば拒めない。ソフトを購入し、毎月のメンテナンス料を払い専用用紙を買う。全ての取引先がそうなると経費が心配である
▽管理者の多くが高年であるためかパソコン自体に未だに恐れをなしている。20 代、30 代の部下たちは難なく当然のごとく使いますが、まだ管理者になれる業務上のスキルが不足している。ＩＴ化も日進月歩で、昨日までやっと覚えたことが明日からはもう時代遅れになっているという具合に困難な面が多いが、何とか時流についていこうと思っている
▽ＩＴ化を進める上での教育的施策を強化して欲しい（上級者向けの）
▽同企業のＩＴ化成功例、失敗例の紹介や格安な講習会等のおしらせがあると便利だと思う
▽マニア的利用者は数人いるもののＩＴの重要性を経営の面から理解しているかは疑問。全体的には保守的志気が低い。こうした側面からの講演会などがもっとあればありがたい
▽今の情報機器は進歩が早くてすぐ内容が変わる。インターネットに接続とか今盛んにＰＲしているが、よく分からない。初心者でも理解できる研修会はあるのですか
▽助成金申請を簡素化してもらいたい。また、助成金の上限を上げてもらいたい

▽コストパフォーマンスを公正に評価する公的機関が必要ではないか。悪徳ＩＴベンダーをやめさせるためにも
▽新しいソフトの導入を検討してもコストがかなりかかり、現実導入はむずかしい。資金面の援助を中規模施設でも受けられるようにしてほしい
▽民間にあるパソコン出張メンテナンス等のサービスが必要とされているので、その面でのサポートをしてほしい
▽FTTH をどんな田舎にも今すぐ持ってきてもらいたい。田舎ほど都会よりも高い情報速度と低い情報コストが必要だと思う
▽時間がとれないので、出張して頂いて他のスタッフも一緒に学べるといい
▽経営部門を銀行・税理士に任せるように、Web のことは Web デザイナー・コンテンツ業者に任せてほしい
▽各機関が行っている業務を一覧できると助かる。また、有償・無償等の明記も
▽電子納品で図面の提出に問題があると思います。SFX などの共通統一したシステムづくりが進んでいますが、JWW などフリーウェアを利用できるよう考慮してほしい
▽具体的活用例の提示（導入から運用まで実現可能なものを）
▽ガイドラインやシステム構築の基準が出来た等のさわり部分だけの講習が多く、具体的にどのように取り組めばよいかが分からないので、これらをアドバイスする窓口がほしい
▽公的機関が中小企業に対して何をして頂けるか知らないが、もっと PR してどの分野で活躍していけばいいのかということを教えてほしい
▽インフラ整備は二の次。コンピュータは夢のマシンではない。自分の指こそが唯一のインターフェイスであるということへの啓蒙（石川県民には無理だろうが）
▽機種の類似品、多種多様化における混乱により、迷ってしまうことを行政指導で簡素化できないものか
▽ＩＴ化による効果の具体的事例の紹介。導入に対する基本データの蓄積の指導（より効果を早く達成させるため）業者の説明はできるできるの宣伝で、我々のなすべき事が不足
▽現場を見て公的人材派遣アドバイスを行ってほしい　▽補助がほしい
▽公共サービスのＩＴ化を充実してほしい　▽パソコンを買い換えるときの援助がほしい
▽新しいソフト導入のための金銭的支援　▽分かりやすい講習が必要
▽統一化を図って欲しい　▽企業内に専任者が育成される支援が必要だと思う
▽分かりやすい言葉での説明をお願いしたい　▽制度融資を積極的に使えるように条件の緩和
▽推進に対しての補助制度の明確化　▽投資助成制度の拡大
▽ＩＴ推進への補助を知りたい　▽無料の研修・講習会を開催してほしい
▽セキュリティ対策への助成金利制度等があれば助かる　▽開発助成の拡大
▽税制上及び助成金についての優遇処置がほしい　▽税制上のＩＴ資金の拡大枠

問 43　開発分野
▽CTI　▽業種別パッケージソフト　▽電子自治体、e-Japan

問 44　業種別受注状況
▽販売仕入管理システム　▽特定できない　▽受注開発
▽ソフトウェア開発　▽通信

問 45　部門別受注状況
▽公共　▽建設業オーナー　▽行政事務

問 48　再発注先選定の要因
▽レベルが低くても誠実な人には教えがいがある。頭が良くてもズル賢い人はダメ
▽当社品質システムで判断　▽納期順守の程度

問 51 付問　人材不足の職種
　▽誠実な人　　　▽PG-SE　　　▽兵隊
　※略語（英文字）集

・**ＡＳＰ**　【Application Service Provider】
ビジネス用のアプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客にレンタルする事業者のこと。レンタルアプリケーションを利用すると、ユーザのパソコンには個々のアプリケーションソフトをインストールする必要がないため、企業の情報システム部門の大きな負担となっていたインストールや管理、アップグレードにかかる費用・手間を節減することができる。

・**ＣＡＬＳ**　【Commerce At Light Speed】
生産者と消費者の間で製品やサービスに関する情報を共有し、設計、製造、調達、決済をすべてコンピュータネットワーク上で行うための標準規格。データの表現形式やデータ交換の手順などを定めた規格群で構成される。米国防総省が資材調達の支援システムとして開発した規格をベースとしている。

・**ＣＲＭ**　【Costomer Relationship Management】
情報システムを応用して企業が顧客と長期的な関係を築く手法のこと。詳細な顧客データベースを元に、商品の売買～保守サービス、問合せやクレーム対応など、個々の顧客とのすべてのやりとりを一貫して管理することにより実現する。顧客ニーズにきめ細かく対応することで、顧客の利便性と満足度を高め、顧客を常連客として囲い込んで収益率の極大化をはかることを目的としている。

・**ＣＴＩ**　【Computer Telephony Integration】
電話やＦＡＸをコンピュータシステムに統合する技術。サポートセンター、お客様相談室など、顧客に電話で応対するコールセンター業務に広く利用されている。最近では顧客データベースと連携したシステムが増えており、顧客のプロフィールや過去の応対履歴、購入履歴などを参照しながら的確なサポートを提供することができるようになっている。

・**Ｃ１－ＮＥＴ**　建設業界のＥＤＩを広く普及させるための電子メール促進ツール。

・**ＤＴＰ**　【Desk Top Publishing】
出版物のデザイン・レイアウトをパソコンで行い、電子的なデータを印刷所に持ち込んで出版すること。机上出版。実際には版下の作成までをパソコンで行うことが多い。

・**ＥＣ**　【Electronic Commerce】
インターネットなどのネットワークを利用して、契約や決済などを行う取引形態。ネットワークの種類や取引の内容を限定しない、包括的な意味を持つ言葉である。

・**ＥＤＩ**　【Electronic Data Interchange】
商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。受発注や見積、決済、出入荷などに関わるデータを、あらかじめ定められた形式にしたがって電子化し、ネットワークを通じて送受信する。最近ではインターネットの普及に伴い、インターネット標準の技術を取り入れたり、通信経路にインターネットを用いることが増え、業界を超えた標準化、オープン化が進行している。

・**ＥＯＳ**　【Electric Ordering System】

企業間のオンライン受発注システム。スーパーマーケットなどの小売店舗の受発注業務の効率化などに使われる。各店舗内で発生する発注、仕入、請求、支払などの各種業務をコンピュータで一元管理し、小売店舗の端末から本部・卸売店などへネットワーク経由で発注を行うことにより、迅速かつ正確な発注作業が実現できる。

・ＦＴＴＨ　【Fiber To The Home】
国内の全家庭に光ファイバーを引き、電話、インターネット、テレビなどのサービスを統合して提供する計画。郵政省やＮＴＴが推進している。

・ＪＷＷ　【JW-CAD for Windows】
ＤＯＳ版２次元汎用ＣＡＤソフト「JW_CAD」の Windows 版。自由に線種をカスタマイズできる２次元ソフト。

・ＰＯＳ　【Point Of Sales system】
店舗で商品を販売するごとに商品の販売情報を記録し、集計結果を在庫管理やマーケティング材料として用いるシステムのこと。「販売時点管理」などとも訳される。機密な在庫・受発注管理ができるようになるほか、複数の店舗の販売動向を比較したり、天候と売上を重ね合わせて傾向をつかむなど、他のデータと連携した分析・活用が容易になるというメリットがある。

・ＳＸＦ　【Scadec data eXchange Format】
国土交通省の主導で、官民で構成するコンソーシアムが開発した、異なるＣＡＤデータの交換に使用する中間ファイル形式で、ＣＡＤ交換標準仕様全体を指す。図面の電子納品において標準ファイル仕様として採用するもの。

・ＶＰＮ　【Virtual Private Network】
公衆回線をあたかも専用回線であるかのように利用できるサービス。実際に専用回線を導入するよりコストを抑えられる。

本誌に関するご意見やご要望は、下記宛へお願い致します。

2004年3月発行

産業ＩＴ化実態調査報告書

発行者：石川県商工労働部産業政策課
〒920-8580　石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL:076-225-1511　　E-mail:syoukou@pref.ishikawa.jp
㈱石川県ソフトウェア研修開発センター
〒920-8203　石川県金沢市鞍月2丁目1番地
TEL:076-267-8000　　E-mail:info@ishikawa-sc.co.jp

本調査の概要につきましては、下記のホームページからもご覧頂けます。
URL　http://www.pref.ishikawa.jp/syoko/index.html